

税金よもやま話

第94回

東京地方税理士会 藤沢支部
税理士 藤崎英雄

10月1日は「日本酒の日」ってご存知でしたか？

今回は、国税収入（593,159 億円）の約 2.3% を占める酒税（13,590 億円）が課税されているお酒に関連するお話です。（国税庁課税部酒税課・酒のしおり平成 29 年 3 月 補正後予算額）

皆さんは、ビール工場を見学した際に工場内で試飲する「ビールが美味しかった」という経験をされたことがあると思います。ところでこのビールにも酒税が課税されています。本来は、製造場から移出された場合に課税されますが、工場内において「飲用された場合」には移出したものとみなして課税されるわけです。

ところで、居酒屋などで「冷酒」「冷や酒」「燗酒」などの言葉を聞いたことがあるかと思います。

冷酒とは、冷蔵庫などで冷やした冷たいお酒を言います。吟醸酒などが代表的です。

冷や酒とは、常温で飲むお酒を言います。昔は、冷蔵庫などもなかったため常温又はお燗をして飲むかの何れかでした。お燗をしていないので「ひや」と言います。

燗酒とは、温めて飲むお酒を言います。「人肌燗」「温めの燗」「あつ燗」などと表現します。

演歌歌手の八代亜紀さんが「舟唄」の出だして「お酒はぬるめの燗がいい」と歌っています。

もう一つ「お冷や」と言いますが、これは真水を言います。居酒屋で「お冷やをください」と言ったら、冷酒のメニューを差し出されたなんて笑っちゃいますね。

さて、「酒」の漢字は「さんずい」に「酉」と書きます。

「酉」とは本来お酒を発酵させる入れ物で「酒つぼ」を表す象形文字からきています。酒を表す漢字には「酉」が多く使われていますが、例えば「晩酌」「酔客」「酩酊」「焼酎」「醪」「発酵」「醸造」等々です。

「酉」は十二支の中で、子・丑・寅・卯…と数えて 10 番目ですから、10 番目の月つまり 10 月が日本酒の月となったという説があります。

これは、昭和 53 年（1978 年）日本酒造組合中央会が制定しました。

日本酒造組合中央会では、毎年 10 月 1 日「日本酒の日」に「全国一斉日本酒で乾杯！」事業を企画しています。

今年ももうすぐ 10 月、日本酒の美味しい季節がやってきます。

秋の夜長に燗をして飲む「日本酒」は、秋刀魚や松茸など海の幸、山の幸など秋の味覚にピッタリのお酒です。

では、今宵も「日本酒で乾杯」といいますか。



（ちょっと寄り道） 次のお酒はなあに？？

- ① 静かにしんみり飲むお酒は…
- ② 今宵も豪華に飲むお酒は…
- ③ いつもと変わらず飲むお酒は…
- ④ 別れた友をしんみり思い出しながら飲むお酒は…
- ⑤ 都会のビジネス街で飲むお酒は…
- ⑥ 恐縮しながら飲むお酒は…
- ⑦ 我々みんなが好きなお酒は…
- ⑧ 気軽に手ぶらで飲むお酒は…
- ⑨ 安土桃山時代の茶人が飲んだお酒は…
- ⑩ キャンキャンうるさく吠えられながら飲むお酒は…

- ⑩ 最近見かけないがスリッパから「スリッパ」
 - ⑨ 茶人は千利休「リキウ」
 - ⑧ 手ぶらで飲むから「フレンチ」
 - ⑦ W 好き「キーエス」
 - ⑥ いつもこも垂れない「アノ」
 - ⑤ スリッパの街で飲む「スリッパ」
 - ④ 本職が「みん」
 - ③ 「スリッパ」
 - ② 臺灣に飲む「臺灣」
 - ① 昔さん静かに飲む「静酒」
- （笑）